



聞きちゃってんしゃい! ふくつ便

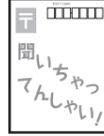


市広報秘書課
(福岡庁舎)
☎43・8113

7月1日号の広報「聴いちゃってんしゃい!ふくつ便」に掲載した「子ども会の強制加入の意見について」に対して、投稿がありましたので紹介します。

子ども会の加入について

ペンネーム プーさん



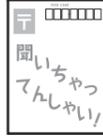
7月1日号に掲載されていた意見を読み少し寂しく思い投稿しました。

私も子ども会の強制加入については絶対反対です。でも、子ども会はつらいことばかりではありませんよ。私は、子どもたちも大きくなり、今は子ども会を卒業しましたが、当時(3〜4年前)は会長をしました。今思い返してもとても忙しい大変な1年間でした。しかし、得るものはたくさんありました。顔は知っているけど、あいさつも話もしない子どもたちと通るすがりに声を掛け、時には話もして、それは子ども会を離れた今も続いています。でも、一番に思うのはわが子の成長

です。末っ子で自分では何もできない甘えん坊と思っていた息子が、6年生になったときには下級生の面倒を見ていて、下の子どもたちから、とても慕われています。大人の言うことは甘えて聞いてくれない子どもも、上級生の大好きなお兄さんお姉さんの言うことは聞いてくれるんです。これが縦のつながりだと思います。このつながりが続けば、中学に入ったときに後輩からも慕われるのではないのでしょうか。また、子ども会に加入していないために、子ども会活動に参加させてあげられない子どもたちもいました。保険に加入していない子どもを活動に参加させることがで

心頭を減すれば、火もまた涼し

方木 修一さん



今年の夏は「ウルトラ・クールビズ」が、社会を席巻しそうな勢いです。が、少なくとも、家庭を持った社会人としての現役の期間を、厳しいドレスコードに準じて職務を裁いていた私には、少々奇異な社会現象ですね。

ドレスコードとは、その場所・地位で職務・責務を果たすことを「来客」に知らしめる重要な要因と私は考えるからです。執務室が快適か否か：とは無関係です。毛ずねを出した、雪駄、ステテコ、入れ墨を見せる半裸の着衣、腰にタオルでもぶら下げて市民が訪れる

する」とは、暑さを苦しさにしないう仕事ぶりのことでしょうか、「火もまた涼し」とは、その成果への満足感のことではないでしょうか。ドレスコードの乱れが「節電」の条件になるのは邪道だと思いません。職務を果たすとは、その結果に、マナーに、主と客の品位がもたらす喜びがあって、涼しさを感じるものなのです。

。私は、市役所がそんな雰囲気にはなってもらいたくない。市役所の窓口を訪れるとき、良識ある市民は、それなりのドレスコードを自分なりに遵守しているはずで



。「気持ち良く仕事をする」とは、訪れる市民に快感になるような仕事ぶりのことでしょうか。職員自身の気持ち良さのことではないでしょう。

冒頭の「禪の偈」：「心頭を減

自由投稿コーナー「聞きちゃってんしゃい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福岡市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

おたより
寄せちゃってんしゃい
(お便りを送ってください)

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ _____

氏名 _____

年齢 歳 性別 男・女

ペンネームまたはイニシャル _____

※記載がない場合は、実名での掲載とさせていただきます。

住所 _____

〒 _____

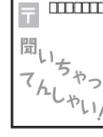
電話() _____

聞きちゃってんしゃい!
ふくつ便

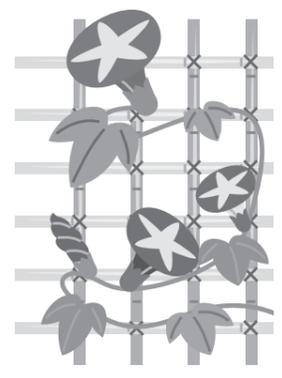
点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、切手を貼って投稿してください。

遮光して断熱はエコですよ

ペンネーム 310ですさん



今年の夏こそエコを考えている人は多いと思います。私も数年前から窓辺にゴーヤ、カボチャ、ひょうたん、ヘチマ、アサガオなどを植えてきました。今年、家の中から熱を遮断しています。遮光カーテンに替え、断熱シートも使っています。少し暗いですが、エコしてお得ですよ。



まず、かわいそうなことをしたと今も思います。私は会長だったので、子ども会への勧誘もしていました。そのときに悩んでいる保護者には、「一度どんな活動をしているのか子どもさんを連れて見に来てくださいい」とお願いしていました。その上で、子どもと話し、加入するかどうかを決めたいと思います。子どもは加入したいが親は忙しくて参加しづらいのであれば、子ども会の役員にその旨の相談をされてはいいでしょうか。子ども会に加入している保護者のほとんどが共働き世帯です。皆同じ立場です。同じ悩みだと思います。親同士も助け合っていけると思っています。また、子ども会活動も十分親子の時間だと私は思います。親



が自分たちのためにいろいろな事を一生懸命している姿を子どもは忘れないと思います。その後ろ姿をきちんと見て大きくなっていくと私は信じています。